

令和6年度（令和5年度実施）
高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（教職・一般教養）

受審番号		氏名	
------	--	----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は、下記に従って記入してください。
 - 記入は、HBの鉛筆を使用し、枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。
 - 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
 - 氏名、受審する教科・科目、受審種別を、該当する欄に記入してください。
 - 受審番号の欄には、受審票を確認のうえ、受審番号（5桁）を記入してください。また、併せて、受審番号欄の該当する数字をマークしてください。
 - 解答は、解答用紙の該当する選択肢の記号をマークしてください。
- 3 筆記審査（教職・一般教養）が終了した後、解答用紙のみ回収します。受審者は、審査室内のすべての解答用紙が回収された後、監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。



「学習指導要領」とは、全国どこの学校でも一定の水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準で、およそ10年に1度、改訂している。次の表は、「学習指導要領」が改訂された年と、その改訂の趣旨を表にしたものである。表中の（①）～（③）に該当する語句を、下の1～9から一つずつ選びなさい。

改訂年	改訂の趣旨
昭和33～35年	教育課程の基準としての性格の明確化
昭和43～45年	教育内容の一層の向上（「教育内容の現代化」）
昭和52～53年	（①）学校生活の実現=学習負担の適正化
平成元年	（②）に自ら対応できる心豊かな人間の育成
平成10～11年	基礎・基本を確実に身に付けさせ、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」の育成
平成20～21年	「生きる力」の育成、基礎的・基本的な知識・技能の習得、（③）等の育成のバランス
平成29～30年	「生きる力」の育成を目指し資質・能力を三つの柱で整理、社会に開かれた教育課程の実現

- | | | |
|-----------------|-------------|---------|
| 1 競争から協調への | 2 ゆとりある充実した | 3 楽しく学ぶ |
| 4 国際化社会 | 5 情報化社会 | 6 社会の変化 |
| 7 思考力・判断力・表現力 | 8 学びに向かう意欲 | |
| 9 アクティブ・ラーニング能力 | | |

問1 （①）

問2 （②）

問3 （③）

次の問4～問9の文は、法令の条文の一部である。(①)～(⑥)のそれぞれに該当するものを、各文の下に示した1～4から一つずつ選びなさい。

問4 天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を(①)し擁護する義務を負ふ。(日本国憲法第99条)

- 1 遵守
- 2 尊重
- 3 理解
- 4 制定

問5 国民一人一人が、自己の人格を磨き、(②)人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。(教育基本法第3条)

- 1 健やかな
- 2 充実した
- 3 豊かな
- 4 教養ある

問6 校長及び教員は、(③)上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない。(学校教育法第11条)

- 1 生徒指導
- 2 教育
- 3 学校生活
- 4 学級経営

問7 この法律は、教育を通じて国民全体に奉仕する教育公務員の（④）に基づき、教育公務員の任免、人事評価、給与、分限、懲戒、服務及び研修等について規定する。

（教育公務員特例法第1条）

- 1 教員としての高い専門性
- 2 教員に求められる高い信頼性
- 3 適性に職務を遂行する必要性
- 4 職務とその責任の特殊性

問8 全てのこどもについて、その年齢及び発達の数度に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な（⑤）に参画する機会が確保されること。

（こども基本法第3条第3号）

- 1 社会的活動
- 2 学びの機会
- 3 学校生活
- 4 体験活動

問9 教育職員等は、基本理念にのっとり、児童生徒性暴力等を行うことがないよう教育職員等としての（⑥）の保持を図るとともに、その勤務する学校に在籍する児童生徒等が教育職員等による児童生徒性暴力等を受けたと思われるときは、適切かつ迅速にこれに対処する責務を有する。

（教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律第10条）

- 1 倫理
- 2 規律
- 3 自覚
- 4 信頼

問10 次の文は、『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（令和3年1月 中央教育審議会）の「はじめに」の一部である。文中の（ ① ）～（ ③ ）に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～5から一つ選びなさい。

日本の学校教育はこれまで、（ ① ）と学力を保障するという役割のみならず、全人的な発達・成長を保障する役割や、人と安全・安心につながるができる居場所としての（ ② ）な役割も担ってきた。この役割の重要性は今後も変わることはない。これまで、日本型学校教育が果たしてきた役割を継承しつつ、学校における働き方改革や（ ③ ）を強力に推進するとともに、新学習指導要領を着実に実施し、学校教育を社会に開かれたものとしていくこと、また、文部科学省をはじめとする関係府省及び教育委員会、首長部局、教職員、さらには家庭、地域等を含め、学校教育を支える全ての関係者が、それぞれの役割を果たし、互いにしっかりと連携することで、「令和の日本型学校教育」の実現に向けた必要な改革を果敢に進めていくことを期待するものである。

- | | | | |
|---|------------|-------|--------------|
| 1 | ① 学習機会 | ② 家庭的 | ③ GIGAスクール構想 |
| 2 | ① 学習機会 | ② 家庭的 | ③ ICTの活用 |
| 3 | ① 学習機会 | ② 福祉的 | ③ GIGAスクール構想 |
| 4 | ① 教育を受ける権利 | ② 家庭的 | ③ ICTの活用 |
| 5 | ① 教育を受ける権利 | ② 福祉的 | ③ ICTの活用 |

問11 「義務教育9年間を見通した教科担任制の在り方について（報告）」（令和3年7月 義務教育9年間を見通した指導体制の在り方等に関する検討会議）に示されている教科担任制導入の趣旨・目的として誤っているものを、次の1～5から一つ選びなさい。

- 1 教材研究の深化等により、高度な学習を含め、教科指導の専門性を持った教師が多様な教材を活用してより熟練した指導を行うことが可能となり、授業の質が向上する。
- 2 小・中学校間の連携による小学校から中学校への円滑な接続（中1ギャップの解消等）を図る。
- 3 複数教師（学級担任・専科教員）による多面的な児童理解を通じた児童の心の安定に資する。
- 4 小学校1年生から専門的な教科指導を行うことで、児童の興味関心を高め、学習成果の向上を図る。
- 5 教師の持ちコマ数の軽減や授業準備の効率化により、学校の教育活動の充実や教師の負担軽減に資する。

問12 ヘルバルト (Herbart, J. F) の経歴と功績について適切なものを、次の1～5から一つ選びなさい。

- 1 フランクフルトで教育者としての使命を自覚し、カイルハウに「一般ドイツ教育舎」を開設して、教育活動を開始した。後年には世界で最初の幼稚園「一般ドイツ幼稚園」を開いた。主著に『人間の教育』がある。
- 2 ハレ大学の教授職に就きながら、近郊のグラウハの牧師も務め、この地の宗教的純化のための努力の間に教育に積極的に参与した。その結果、貧民学校、市民学校、孤児院、ラテン語学校などを結合した一大学園を創設した。
- 3 ハンブルク大学で教育学と哲学の教授を務めた。人間にふさわしい責任ある教育、陶冶、生活の指導の研究に専念し、成人教育、教師養成、精神科学の構造と方法論、学校・大学の改造等、多岐にわたる業績を残した。
- 4 古典語の習得を強調する立場には反対し、人間性の表現としての歴史的・民俗的な素材の中に教育的な価値を認め、子どもを民族の歴史的な課題の担い手として形成しようとした。主著に『人類史哲学考』などがある。
- 5 教育の目的を倫理学から、教育の方法を心理学から演繹することで教育を学問的に体系化し、「科学的教育学の創始者」とも称される。主著に『一般教育学』、『教育学講義綱要』などがある。

問13 記憶に関する次の文中の (①) ～ (③) に該当する語句の組み合わせとして適切なものを、下の1～5から一つ選びなさい。

感覚記憶に貯蔵された情報の中で注意された情報を、10数秒間保持する記憶の貯蔵庫を (①) という。ここで保持される情報量は限られており、大人で 7 ± 2 個程度の範囲の数字を覚えることが可能とされ、さらに、その情報を頭の中や口頭で唱え続ける (②) により情報を保持することができる。なお、(①) は情報の貯蔵に加えて、情報の操作の機能も含めることにより、(③) とよばれることもある。

- | | | | |
|---|--------|--------------|------------|
| 1 | ① 長期記憶 | ② エピソード・バッファ | ③ 手続き記憶 |
| 2 | ① 短期記憶 | ② リハーサル | ③ ワーキングメモリ |
| 3 | ① 短期記憶 | ② エピソード・バッファ | ③ ワーキングメモリ |
| 4 | ① 長期記憶 | ② リハーサル | ③ ワーキングメモリ |
| 5 | ① 短期記憶 | ② リハーサル | ③ 手続き記憶 |

問14 パーソナリティに関する次の文中の (①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして適切なものを、下の1~5から一つ選びなさい。

パーソナリティのとらえかたには、大きく分けて二つある。クレッチマー (Kretschmer, E.) による体格と気質の関係について一般化した考えは (①) の代表例である。一方、(②) の代表例には、因子分析を用いて、新たなパーソナリティ検査を開発したキャッテル (Cattell, R. B.) の研究が挙げられる。現在、パーソナリティの構造に関する研究でもっとも有力視されているのが、ゴールドバーグ (Goldberg, L. R.) の提唱した (③) と呼ばれる考え方である。

- | | | | |
|---|-------|-------|------------|
| 1 | ① 類型論 | ② 実念論 | ③ 16PF |
| 2 | ① 特性論 | ② 類型論 | ③ ビッグ・ファイブ |
| 3 | ① 類型論 | ② 特性論 | ③ ビッグ・ファイブ |
| 4 | ① 類型論 | ② 特性論 | ③ 16PF |
| 5 | ① 実念論 | ② 特性論 | ③ ビッグ・ファイブ |

問15 江戸時代中期から幕末にかけて開設された私塾等と、それを開設したとされる人物名の組み合わせとして適切なものを、次の1~5から一つ選びなさい。

- | | 〈私塾等〉 | 〈人物名〉 |
|---|---------|-------|
| 1 | 護園塾 —— | 荻生徂徠 |
| 2 | 松下村塾 —— | 緒方洪庵 |
| 3 | 適塾 —— | 福沢諭吉 |
| 4 | 咸宜園 —— | 伊藤仁斎 |
| 5 | 芝蘭堂 —— | 吉田松陰 |

問16 教育書と、それを執筆した人物名の組み合わせとして誤っているものを、次の1～5から一つ選びなさい。

〈教育書〉	〈人物名〉
1 学習方法論	エラスムス (Erasmus, Desiderius)
2 学習の心理学	ソーンダイク (Thorndike, E. Lee)
3 教育の過程	ブルナー (Bruner, J. Seymour)
4 知育・徳育・体育論	スペンサー (Spencer, Herbert)
5 教育学から教育科学へ	ヘーニヒスヴァルト (Hönigswald, Richard)

問17 次の文は、「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議報告」(令和3年1月 文部科学省)の「Ⅲ. 特別支援教育を担う教師の専門性の向上 1. 全ての教師に求められる特別支援教育に関する専門性」の一部である。文中の(①)～(④)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～5から一つ選びなさい。

全ての教師には、障害の特性等に関する理解と(①)を工夫できる力や、個別の教育支援計画・個別の指導計画などの特別支援教育に関する基礎的な知識、合理的配慮に対する理解等が必要である。

加えて、障害のある人や子供との(②)を通して、障害者が日常生活又社会生活において受ける制限は、障害により起因するものだけではなく、社会における様々な(③)と相対することによって生ずるものという考え方、いわゆる「(④)」の考え方を踏まえ、障害による学習上又は生活上の困難について本人の立場に立って捉え、それに対する必要な支援の内容を一緒に考え、本人自ら合理的配慮を意思表示できるように促していくような経験や態度の育成が求められる。

1	① 指導方法	② 交流	③ 差別	④ 個人モデル
2	① 指導方法	② 触れ合い	③ 障壁	④ 社会モデル
3	① 対応方法	② 交流	③ 障壁	④ 個人モデル
4	① 対応方法	② 触れ合い	③ 差別	④ 社会モデル
5	① 対応方法	② 触れ合い	③ 障壁	④ 個人モデル

問18 「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（令和3年1月 中央教育審議会）の「第Ⅱ部 各論 4. 新時代の特別支援教育の在り方について」の中で示された、障害のある子供の就学相談や学びの場の検討等の支援について、各市町村教育委員会における子供一人一人に応じた支援を一層充実させるための具体的な例として適切でないものを、次の1～5から一つ選びなさい。

- 1 特別支援学級や通級による指導，通常の学級等の学びの場の判断について，教育支援委員会を起点に様々な関係者が多角的，客観的に検討すること
- 2 必要に応じ，市区町村教育委員会や特別支援学校が都道府県教育委員会の求めに応じた助言等を行うこと
- 3 特別支援学級及び通級による指導の対象となる児童生徒の障害の状態等をより具体的な形で分かりやすく示すとともに，障害の状態等を参考に特別の教育課程を検討する際の視点を解説すること
- 4 教育委員会が示す就学先と保護者の意向が合致しない場合の調整の場の在り方について検討すること
- 5 特別支援学級において指導を受ける時間が一定の時間に満たない者について通級による指導の対象とすることを検討することもありうること

問19 次の文は、「発達障害者支援法」(平成28年6月改正)第2条の2である。文中の(①)～(④)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～5から一つ選びなさい。

(基本理念)

第2条の2 発達障害者の支援は、全ての発達障害者が(①)の機会が確保されること及びどこで誰と生活するかについての(②)が確保され、地域社会において他の人々と共生することを妨げられないことを旨として、行われなければならない。

2 発達障害者の支援は、社会的障壁の(③)に資することを旨として、行われなければならない。

3 発達障害者の支援は、個々の発達障害者の性別、年齢、障害の状態及び生活の実態に応じて、かつ、医療、保健、福祉、教育、労働等に関する業務を行う関係機関及び民間団体相互の緊密な連携の下に、その(④)の支援に配慮しつつ、切れ目なく行われなければならない。

- | | | | | |
|---|--------|---------|------|--------|
| 1 | ① 社会活動 | ② 選択の機会 | ③ 解消 | ④ 自己決定 |
| 2 | ① 社会活動 | ② 選択の自由 | ③ 除去 | ④ 意思決定 |
| 3 | ① 社会参加 | ② 選択の機会 | ③ 除去 | ④ 意思決定 |
| 4 | ① 社会参加 | ② 選択の自由 | ③ 解消 | ④ 意思決定 |
| 5 | ① 社会参加 | ② 選択の機会 | ③ 解消 | ④ 自己決定 |

問20 次の文は、「小学校学習指導要領」(平成29年3月告示)の「第6章 特別活動 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」、 「中学校学習指導要領」(平成29年3月告示)の「第5章 特別活動 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」、 「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示)の「第5章 特別活動 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。文中の(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～5から一つ選びなさい。

2 内容の取り扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(4) (①)による交流を重視するとともに、幼児、(②)、障害のある人々などとの交流や対話、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習の機会を通して、協働することや、他者の役に立ったり(③)に貢献したりすることの喜びを得られる活動を充実すること。

- | | | | |
|---|----------|-------|------|
| 1 | ① 異年齢集団 | ② 高齢者 | ③ 地域 |
| 2 | ① 異年齢集団 | ② 高齢者 | ③ 社会 |
| 3 | ① 異年齢集団 | ② 有職者 | ③ 社会 |
| 4 | ① 全校児童生徒 | ② 有職者 | ③ 地域 |
| 5 | ① 全校児童生徒 | ② 高齢者 | ③ 地域 |

問21 次の文は、「小学校学習指導要領解説 特別活動編」(平成29年7月 文部科学省)、「中学校学習指導要領解説 特別活動編」(平成29年7月 文部科学省)および「高等学校学習指導要領解説 特別活動編」(平成30年7月 文部科学省)の中の、特別活動改訂の趣旨及び要点に関する説明文の一部である。文中の(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～5から一つ選びなさい。

【小学校】

特別活動は、様々な構成の集団から学校生活を捉え、(①)の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われる活動の総体である。その活動の範囲は学年・学校段階が上がるにつれて広がりをもっていき、そこで育まれた(②)は、社会に出た後の様々な集団や人間関係の中で生かされていくことになる。このような特別活動の特質を踏まえ、これまでの目標を整理し、指導する上で重要な視点として「人間関係形成」,「(③)」,「自己実現」の三つとして整理した。

【中学校】

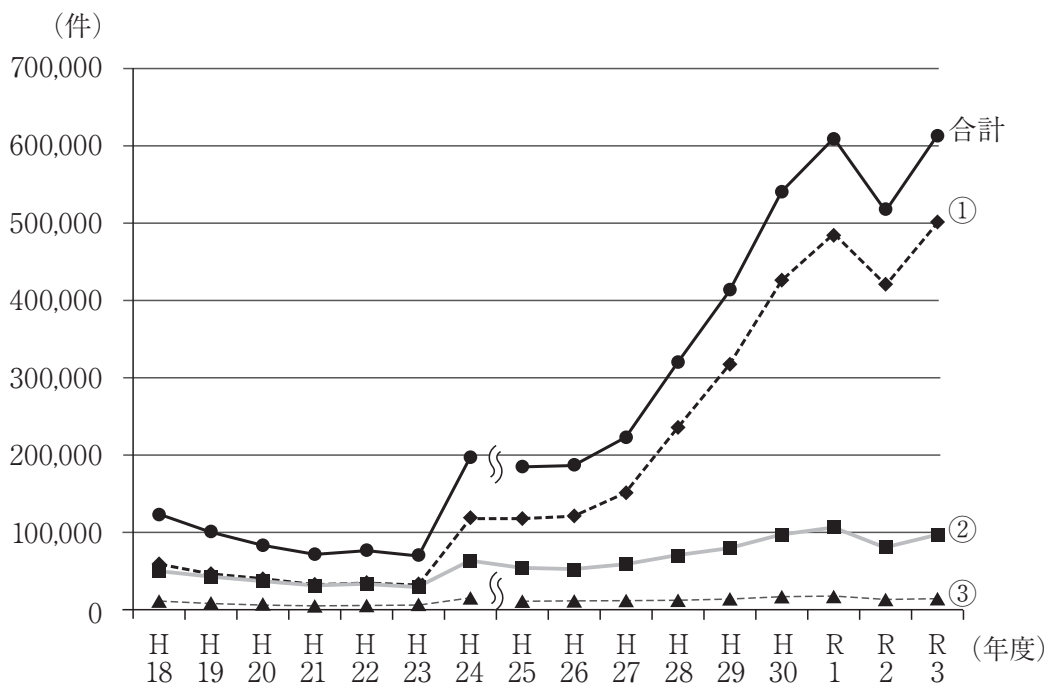
特別活動は、様々な構成の集団から学校生活を捉え、(①)の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われる活動の総体である。その活動の範囲は学年、学校段階が上がるにつれて広がりをもっていき、そこで育まれた(②)は、社会に出た後の様々な集団や人間関係の中で生かされていくことになる。このような特別活動の特質を踏まえ、これまでの目標を整理し、指導する上で重要な視点として「人間関係形成」,「(③)」,「自己実現」の三つとして整理した。

【高等学校】

特別活動は、様々な構成の集団から学校生活を捉え、(①)の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われる活動の総体である。その活動の範囲は学年、学校段階が上がるにつれて広がりをもっていき、そこで育まれた(②)は、社会に出た後の様々な集団や人間関係の中で生かされていくことになる。このような特別活動の特質を踏まえ、指導する上での重要な視点を「人間関係形成」,「(③)」,「自己実現」の三つとして整理した。

- | | | | |
|---|------|---------|--------|
| 1 | ① 課題 | ② 資質・能力 | ③ 社会参画 |
| 2 | ① 課題 | ② 知識・技能 | ③ 社会貢献 |
| 3 | ① 課題 | ② 知識・技能 | ③ 社会参画 |
| 4 | ① 問題 | ② 知識・技能 | ③ 社会参画 |
| 5 | ① 問題 | ② 資質・能力 | ③ 社会貢献 |

問22 次のグラフは、「令和3年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」（令和4年10月 文部科学省）で報告されている平成18年度から令和3年度までの、小学校、中学校および高等学校における「いじめの認知件数」を表したものである。①～③のグラフが表している校種の組み合わせとして正しいものを、下の1～5から一つ選びなさい。



- 1 ① 小学校 ② 中学校 ③ 高等学校
- 2 ① 小学校 ② 高等学校 ③ 中学校
- 3 ① 中学校 ② 小学校 ③ 高等学校
- 4 ① 中学校 ② 高等学校 ③ 小学校
- 5 ① 高等学校 ② 中学校 ③ 小学校

問23 次の文は、『生徒指導提要』（令和4年12月 文部科学省）に示されている生徒指導の定義と目的である。文中の（①）～（④）に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～5から一つ選びなさい。

【生徒指導の定義】

生徒指導とは、児童生徒が、社会の中で（①）生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える（②）のことである。なお、生徒指導上の課題に対応するために、必要に応じて指導や援助を行う。

【生徒指導の目的】

生徒指導は、児童生徒一人一人の（③）の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の（④）と社会に受け入れられる自己実現を支えることを目的とする。

- | | | | | |
|---|---------|--------|------|--------|
| 1 | ① 誇らしく | ② 教育相談 | ③ 個性 | ④ 課題解決 |
| 2 | ① 自分らしく | ② 教育相談 | ③ 長所 | ④ 幸福追求 |
| 3 | ① 誇らしく | ② 教育活動 | ③ 個性 | ④ 幸福追求 |
| 4 | ① 自分らしく | ② 教育活動 | ③ 個性 | ④ 幸福追求 |
| 5 | ① 自分らしく | ② 教育相談 | ③ 長所 | ④ 課題解決 |

問24 次の文は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の条文の一部である。文中の（①）～（④）に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～5から一つ選びなさい。

第1条

この法律は、障害者基本法（昭和45年 法律第84号）の基本的な理念にのっとり、全ての障害者が、障害者でない者と等しく、基本的人権を享有する（①）としてその尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい（②）を保障される権利を有することを踏まえ、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項、行政機関等及び事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置等を定めることにより、障害を理由とする差別の解消を推進し、もって全ての国民が、障害の有無によって（③）ことなく、相互に人格と（④）を尊重し合いながら共生する社会の実現に資することを目的とする。

- | | | | | |
|---|------|------|-----------|-------|
| 1 | ① 個人 | ② 人権 | ③ 差別される | ④ 多様性 |
| 2 | ① 個人 | ② 生活 | ③ 分け隔てられる | ④ 個性 |
| 3 | ① 国民 | ② 人権 | ③ 分け隔てられる | ④ 多様性 |
| 4 | ① 国民 | ② 生活 | ③ 差別される | ④ 個性 |
| 5 | ① 国民 | ② 生活 | ③ 差別される | ④ 多様性 |

問25 次の文は、「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」（平成20年3月 文部科学省）の一部である。文中の（ ① ）～（ ④ ）に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～5から一つ選びなさい。

学校において人権教育を進めていく際には、人権教育が目指す諸能力を総体的・構造的にとらえた上で、その指導内容を構成することが必要である。人権教育が育成を目指す資質・能力は、知識的側面、価値的・態度的側面及び（ ① ）的側面の3つの側面として捉えることができるが、（ ② ）における系統的な指導内容として、これらの側面の育成を総合的に位置付けることが望ましい。

一方、学校教育における各教科等やその分野・領域にはそれぞれ独自の目標やねらいがあり、指導に当たっては、この目標やねらいを達成させることが、第一義的に求められることは言うまでもない。このような中であって、人権教育をいかにして総合的に位置付け、実践するかについては、なお、様々な工夫や検討が求められるところである。

現代社会における人権尊重の理念の徹底の重要性にかんがみれば、児童生徒に対しては、人権に関わる資質・能力を（ ③ ）身に付けさせる必要があり、人権教育の指導内容についても、総合的な内容構成が目指されることになるが、同時に、育成すべき資質・能力の特定の側面に焦点を当て、（ ④ ）的、具体的な指導内容を構成してこれを実施していくことも、必要かつ有効な方法となる。

- | | | | | |
|---|------|--------|---------|------|
| 1 | ① 技能 | ② 学校全体 | ③ トータルに | ④ 個別 |
| 2 | ① 生活 | ② 学校全体 | ③ 個に応じて | ④ 実践 |
| 3 | ① 技能 | ② 学校全体 | ③ 個に応じて | ④ 実践 |
| 4 | ① 技能 | ② 生徒指導 | ③ 個に応じて | ④ 個別 |
| 5 | ① 生活 | ② 生徒指導 | ③ トータルに | ④ 実践 |

問26 次の文は、「第3期高知県教育振興基本計画（第3次改訂版）」（令和5年3月 高知県教育委員会）の一部である。文中の（①）～（④）に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～5から一つ選びなさい。

学力の未定着、いじめや不登校、虐待や非行などといった（①）状況に直面している子どもたち一人一人に応じた支援の充実を図るため、就学前には（②）の子育て力の向上などを重点的に支援するとともに、就学後は学校をプラットフォームとして、地域や専門機関等との連携・協働体制を県内全域で構築しながら、就学前から高等学校までの（③）支援を推進します。

また、子どもたちの貧困の（④）を教育の力で断ち切るための取組を推進するなど、社会的自立に向けた支援の一層の充実・強化を図ります。

- | | | | | |
|---|---------|--------|----------|---------|
| 1 | ① 課題のある | ② 地域社会 | ③ 総合的な | ④ 深刻化 |
| 2 | ① 困難な | ② 地域社会 | ③ 総合的な | ④ 深刻化 |
| 3 | ① 困難な | ② 保護者 | ③ 切れ目のない | ④ 世代間連鎖 |
| 4 | ① 課題のある | ② 保護者 | ③ 総合的な | ④ 世代間連鎖 |
| 5 | ① 課題のある | ② 保護者 | ③ 切れ目のない | ④ 深刻化 |

問27 次の文は、「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～（答申）」（令和4年12月 中央教育審議会）の一部である。文中の（①）～（④）に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～5から一つ選びなさい。

令和3年答申では、2020年代を通じて実現を目指す「令和の日本型学校教育」の在り方と、それを担う教師及び教職員集団のあるべき姿を示している。

具体的には、2020年代を通じて実現を目指す学校教育を「令和の日本型学校教育」とし、その姿を、「全ての子供たちの（①）を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」と定義した。

その際、教師及び教職員集団の理想的な姿として、以下の3点を示している。

- 教師が技術の発達や新たなニーズなど学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探究心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を（②）、子供一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている。その際、子供の主体的な学びを支援する伴走者としての能力も備えている。
- 教員養成、採用、免許制度も含めた方策を通じ、多様な人材の教育界内外からの確保や教師の資質能力の向上により、質の高い教職員集団が実現されるとともに、教師と、総務・財務等に通じる専門職である事務職員、それぞれの分野や組織運営等に専門性を有する多様な外部人材や専門スタッフ等とがチームとなり、個々の教職員がチームの一員として組織的・協働的に取り組む力を発揮しつつ、校長のリーダーシップの下、家庭や地域社会と連携しながら、共通の（③）に向かって学校が運営されている。
- さらに、学校における働き方改革の実現や教職の魅力発信、新時代の学びを支える環境整備により、教師が（④）的で魅力ある仕事であることが再認識され、教師を目指そうとする者が増加し、教師自身も志気を高め、誇りを持って働くことができている。

- | | | | | |
|---|-------|--------|----------|------|
| 1 | ① 意欲 | ② 学び続け | ③ 教育理念 | ④ 理想 |
| 2 | ① 可能性 | ② 習得し | ③ 教育理念 | ④ 創造 |
| 3 | ① 可能性 | ② 習得し | ③ 教育理念 | ④ 理想 |
| 4 | ① 意欲 | ② 習得し | ③ 学校教育目標 | ④ 創造 |
| 5 | ① 可能性 | ② 学び続け | ③ 学校教育目標 | ④ 創造 |

問28 次の文は、「企業等と連携した子供のリアルな体験活動の推進について～子供の体験活動推進に関する実務者会議論点のまとめ～」(令和4年12月 子供の体験活動推進に関する実務者会議)の一部である。文中の(①)～(④)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～5から一つ選びなさい。

(1) 体験活動の定義

○ 体験活動については、平成19年の中央教育審議会答申において、「体験を通じて何らかの学習が行われることを目的として、体験する者に対して(①)・計画的に提供される体験」と定義している。

また、平成25年の中央教育審議会答申においては、体験活動の内容を大きく、「生活・(②)体験活動」、「自然体験活動」、「社会体験活動」の3つに分類している。

(2) 体験活動の効果・意義

○ 体験活動については、学校教育法、社会教育法、いじめ防止対策推進法等にその促進等について記載されているとともに、現行の学習指導要領(平成29年3月)においても、体験活動等を通じて、(③)や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めることとされている。

○ 体験活動の効果については、例えば、生活・(②)体験の一つである「お手伝い」については、家庭でお手伝いを多くすることによって、自尊感情や自分の感情を調整するといった精神的な回復力、勉強が楽しいといった(④)の高まり等により影響が見られることが明らかになっているほか、自然体験活動については、子供の頃に家庭や青少年教育施設等で自然体験活動を多く行った者ほど、自己肯定感、自律性、協調性や積極性といったいわゆる非認知能力が高くなる傾向がみられることが明らかになっている。

- | | | | | |
|---|-------|------|--------|--------|
| 1 | ① 教育的 | ② 文化 | ③ 豊かな心 | ④ 学習効果 |
| 2 | ① 意図的 | ② 伝統 | ③ 道徳性 | ④ 学習意欲 |
| 3 | ① 教育的 | ② 伝統 | ③ 豊かな心 | ④ 学習効果 |
| 4 | ① 意図的 | ② 文化 | ③ 豊かな心 | ④ 学習意欲 |
| 5 | ① 教育的 | ② 伝統 | ③ 道徳性 | ④ 学習意欲 |

問29 次の文は、「子供の読書活動推進に関する有識者会議 論点まとめ～全ての子供たちの読む喜びを育む読書活動の推進～」(令和4年12月 文部科学省)の一部である。文中の(①)～(④)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～5から一つ選びなさい。

- 子供の読書への関心を高めるためには、友人等の同世代の者とのつながりをこれまで以上に一層生かし、子供同士での本の紹介や話し合い、(①)といった協働的な活動の実施が有効と考えられる。こうした活動は、読む本の幅を広げるきっかけとなったり、他者の異なる考えを知り、それを(②)したり改めて自分自身の考えを見つめ直す経験ができるといった効果が期待できる。
- (③)子供たち誰もが参加できる活動とすることも重要である。例えば、読み聞かせやお話(ストーリーテリング)等の取組に、手話を添えたり、手遊びや歌をまじえたり、様々な言語を併用したりすることが考えられる。その際、地域の図書館や学校で行う場合は、ボランティア人材の協力を得ることが有効と考えられる。
- 必要に応じ、既存の取組に(④)を効果的に活用することで、子供たちにとって読書活動がより身近で魅力あるものとなる可能性がある。

- | | | | | |
|---|------|------|--------|--------------|
| 1 | ① 批判 | ② 受容 | ③ 異年齢の | ④ ICT |
| 2 | ① 批評 | ② 議論 | ③ 異年齢の | ④ ICT |
| 3 | ① 批評 | ② 受容 | ③ 多様な | ④ ICT |
| 4 | ① 批判 | ② 議論 | ③ 多様な | ④ アクティブラーニング |
| 5 | ① 批判 | ② 受容 | ③ 異年齢の | ④ アクティブラーニング |

問30 「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査（令和3年度）」（令和4年10月 文部科学省）において示されている内容として誤っているものを，次の1～5から一つ選びなさい。

- 1 日本語指導が必要な児童生徒数は，前回調査より減少した。
- 2 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒を言語別にみると，ポルトガル語を母語とする者の割合が全体の約4分の1を占め，最も多い。
- 3 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒のうち，学校において特別の配慮に基づく指導を受けている者の割合と人数は前回調査より増加した。
- 4 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒を言語別にみると，日本語を使用する者の割合が最も多く，二番目がフィリピン語であった。
- 5 進路状況では，大学などに進学した生徒は，前回から改善しているものの，全高校生等に対する割合は依然として低い。

問31 次の文中の（ ）に該当する数値として正しいものを，下の1～5から一つ選びなさい。

育児休業，介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律が令和3年6月に改正され，育児休業については原則2回まで取得することが可能となるとともに，男性の育児休業の取得を促進するため，子の出生後（ ）週間以内に4週間まで取得できる柔軟な育児休業の枠組み（出生時育児休業「産後パパ育休」）が創設された。

- 1 6
- 2 7
- 3 8
- 4 9
- 5 10

問32 次の文中の（ ）に該当する語句として正しいものを，下の1～5から一つ選びなさい。

日本の鉄道が1872（明治5）年10月14日に（ ）～横浜間で開業して，2022（令和4）年で150年を迎えた。

- 1 東京
- 2 浅草
- 3 品川
- 4 新橋
- 5 新宿

問33 UNHCRは，1950（昭和25）年に設立され，近年では，アフリカ，中東，アジアで発生した難民危機への対応を行うとともに，紛争で家を追われた国内避難民，無国籍者への支援等も行っている。また，ウクライナにおける紛争や情勢不安の影響を受け，1994（平成6）年から今日にいたるまで，現地当局，パートナー団体，地元の組織と連携しながら，保護や人道支援を必要としている人々のサポートを現場で行っている。UNHCRの日本語名称として正しいものを，下の1～5から一つ選びなさい。

- 1 世界保健機関
- 2 国際連合ボランティア計画
- 3 国際連合児童基金
- 4 国連難民高等弁務官事務所
- 5 国際移住機関

問34 我が国の無形文化遺産として「無形文化遺産の保護に関する条約」に基づく代表一覧に2022（令和4）年に掲載されたものを、次の1～5から一つ選びなさい。

- 1 和食；日本人の伝統的な食文化
- 2 伝統的酒造り
- 3 風流踊
- 4 那智の田楽
- 5 結城紬

問35 次の文中の（ ① ）～（ ③ ）に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～5から一つ選びなさい。

2022（令和4）年11月8日夕方から宵にかけて、（ ① ）月食が起こった。この（ ① ）月食では、日本全国で、部分食の始まり（月の欠け始め）から部分食の終わり（月の欠け終わり）までを見ることができた。月食は、月が地球の影に入ることによって起こるが、この月食は、地球の影（本影）によって（ ② ）が隠される「（ ① ）月食」であった。

また、今回の月食では、月食の最中に、小笠原諸島を除く日本のほとんどの場所で、月が（ ③ ）を隠す「（ ③ ）食」が起こった。

- 1 ① 皆既 ② 月全体 ③ 天王星
- 2 ① 部分 ② 月の一部 ③ 海王星
- 3 ① 皆既 ② 月全体 ③ 海王星
- 4 ① 部分 ② 月全体 ③ 海王星
- 5 ① 皆既 ② 月の一部 ③ 天王星

問36 次の文は、「教育データの利活用に係る論点整理（中間まとめ）」（令和3年3月 教育データの利活用に関する有識者会議）の一部抜粋である。文中の（ ① ）～（ ③ ）に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～5から一つ選びなさい。

2. 教育データの定義

～中略～

（1）年齢・段階

- 初等中等教育段階の学校教育における児童生徒（学習者）の教育・学習に関するデータ（「（ ① ）データ」）を基本とする。

（2）主体

- ① 児童生徒（学習者）に関するデータ（学習面：学習履歴 / スタディ・ログ，生活・健康面：ライフ・ログ）
- ② 教師の指導・支援等に関するデータ（アシスト・ログ）
- ③ 学校・学校設置者（地方自治体等）に関するデータ（運営・行政データ）

（3）対象

- 個々の子供の学びによる変容を記録し，活用していく観点から，（ ② ）データ（テストの点数等）だけではなく，（ ③ ）データ（成果物，主体的に学習に取り組む態度，教師の見取り等）も対象とする。
- なお，（ ② ）データ，（ ③ ）データの両面において，それぞれデータの内容，粒度，利活用の目的等によって議論すべき点を区分することが必要である。

- | | | | |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | ① 総括的 | ② 形成的 | ③ 診断的 |
| 2 | ① 総括的 | ② 分析的 | ③ 診断的 |
| 3 | ① 公教育 | ② 診断的 | ③ 分析的 |
| 4 | ① 公教育 | ② 定量的 | ③ 定性的 |
| 5 | ① 公教育 | ② 定性的 | ③ 定量的 |

次の文は、「第3期高知県教育振興基本計画（第3次改訂版）」（令和5年3月 高知県教育委員会）の「第4章 基本方針と喫緊の課題の解決に向けた横断的取組 2 各基本方針、横断的取組の概要」の一部抜粋である。

文中の（①）～（④）に該当する語句を、下の1～12から一つずつ選びなさい。

基本方針Ⅲ デジタル社会に向けた教育の推進

技術革新が急速に進む中で、あらゆる分野においてデジタル技術の活用が進んでいます。教育分野においても、AIやビッグデータ等の新しい技術の活用が進んでおり、これまでの学校教育の在り方も大きく変化していくことが予想されます。

一斉一律を前提とした授業の中では、理解が十分でなく授業についていけない児童生徒や内容が平易すぎると感じている児童生徒への対応、個々の児童生徒の興味・関心に沿った授業の実施といった点で課題があります。

また、中山間地域の小規模の高等学校等においては、生徒の進路希望や興味・関心に応じた（①）に課題がみられる場合もあります。

こうした課題に対応し、児童生徒一人一人の進度や能力、興味・関心に応じた学びの実現を図るため、1人1台整備されたタブレット端末等の（②）な活用を進めるとともに、習熟度や児童生徒の状況に応じた個別学習、（③）教育システムによる授業配信など、先端技術を最大限に活用した取組を推進します。さらに、デジタル技術を効果的に活用した授業づくりについて学ぶ研修等を実施するとともに、体系的な研修プログラムを実践し、教員のICT活用指導力の向上を図ります。

～中略～

このため、全ての児童生徒が、新しい時代に対応するための基盤となる情報活用力や思考力等を身につけることができるよう、各学校におけるプログラミング教育や（④）教育の充実を図るとともに、AIやビッグデータ等を活用して新たな価値の創造や社会課題の解決を図る人材の育成に向けた高大連携の取組など、デジタル社会に対応する人材の育成を図ります。

- | | | | |
|-----------------|----------|-------------------------|--------|
| 1 グローバル | 2 理数系科目の | 3 オフライン | 4 協働的 |
| 5 個別指導 | 6 多様な指導 | 7 日常的 | 8 持続可能 |
| 9 リカレント | 10 遠隔 | 11 DX（デジタルトランスフォーメーション） | |
| 12 学習支援プラットフォーム | | | |

問37（①）

問38（②）

問39（③）

問40（④）



